

大館市総合教育会議
会 議 録

平成27年10月開催

平成27年度 第2回大館市総合教育会議 会議録

1 日 時 平成27年10月19日 月曜日
開会 16時00分 閉会 17時00分

2 会 場 大館市役所 本庁 第1委員会室

3 出席者 大館市長 福原 淳嗣
大館市教育委員会
教育委員長 山田 和人
教育委員 清野 克子
教育委員 根田穂美子
教育委員 三浦 仁 (欠席)
教 育 長 高橋 善之

(事務局関係)

教育総務課長 加賀 安長
教育総務課長補佐 日景 真澄
教育総務課長補佐 成田 政仁
スポーツ振興室長 三澤 勝
学校教育課長 木立 亨
学校教育課長補佐 羽生 昇二
学校教育課長補佐 長岐 公二
教育研究所長 山本多鶴子
生涯学習課長 菅原 悟
郷土博物館長 若宮 司
生涯学習課長補佐 小玉 均
中央公民館長 佐藤 和浩

4 協議事項 (1) 平成28年度当初予算について

5 会議内容

○加賀教育総務課長

ただ今より、平成27年度第2回大館市総合教育会議を開会いたします。
本日、三浦委員が都合により欠席されていますことをご報告いたします。
それでは始めに、当会議の招集者であります福原市長がご挨拶申し上げます。

○福原市長

本日は、ご多忙にもかかわらず「平成27年度第2回大館市総合教育会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

教育委員の皆様には、日頃より大館市の教育行政における基本方針や重要事項の審議・決定等、ご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様ご存知のとおり「総合教育会議」においては、

- ①教育行政の大綱の策定
- ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

について、協議・調整が行われ、合意した方針のもとに、それぞれの執行機関において、所管事務を執行することとなっております。

「総合教育会議」設置後、第1回目の会議は本年5月28日に開催し、「総合教育会議運営要綱」と教育振興施策の「大綱」について協議し、策定していただきました。策定後は、その基本理念及び基本目標に従い、教育施策を進めていただいているところです。

本日は、「総合教育会議」での協議・調整事項の一つであります「教育の条件整備など重点的に講ずべき施策」に関連し「平成28年度当初予算について」が、案件となっております。

各課ごとに、28年度に展開される市の教育、学術及び文化の振興に関する重点的な施策に関連する「取り組む主な事業（案）」について説明いただき、それを基に教育委員の皆様と活発な意見交換を行い、施策に対する大きな方向性を示したいと考えております。

本日の「総合教育会議」で協議し、示された方向性に基づき、教育委員会事務局の各課においては、新年度予算要求に反映させていただきたいと考えております。

限られた時間ではありますが、ご協力の程お願い申し上げまして、簡単ではございますが、私からのご挨拶といたします。

○加賀教育総務課長

ありがとうございました。

続きまして、山田教育委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○山田教育委員長

会議の開会に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。市長におかれましては、ご多忙にもかかわらず総合教育会議を招集いただき、感謝申し上げます。

私事ですが、5月28日開催されました第1回総合教育会議を所用により欠席したこと、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

さて、このような総合教育会議ができ、首長であります福原市長と肝胆相照らしながら、教育委員の皆さまと教育行政について話し合いができるということは、非常に恵まれた機会を得たとの思いで、喜びでいっぱいです。併せて、福原市長が、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画について、まちづくりの要としてくださったことに、重ねて感謝申し上げます。本来であれば、当初この話をすべきでしたが、本日第2回目ではありますが、少し話をさせてください。自分が若い頃に、まちづくりの基本は二つあるということを学びました。一つは、そのまちの伝統や歴史に感謝することであり、それを耕し直すことが必要だということ。もう一つは、そのようなことをできる人をつくらなければいけない、すなわち人づくりが必要だということ。この二つを学びました。それはもしかすると、すでに教育委員会自らがふるさとキャリア教育という形で実践しているのかもしれませんが、そのことについては委員として非常に誇りに思っています。市長もご参加いただきました北陽中学校の開校記念式典で、生徒の姿をご覧いただいたでしょうか。非常に素晴らしい生徒たちでした。大きな声で、立派に歌い上げていました。そして今、小学校の子どもたちは、きりたんぼまつりに参加しながら、たくさんものを市民にプレゼンしています。しかも城南小学校においては、まちの宝は人財ということで、様々なプレゼンを展開しています。そのような意味では、本当に大館の学校を訪問するたびに、元気な声が聞こえるとともに、先生、児童・生徒、そしてまちの人、みんながそこの地域を盛り上げるという形で、教育委員会がこぞって生き残るまちにしたいという思いで一生懸命活動しております。そのおかげで、学力も着実に伸びてまいりました。教育の第一義の目標は、学力と思いますが、学力は目的ではなく手段ではないかと思っています。目的は、これからの困難な時代に、自ら率先して旗を振り、そして自らの頭で考え行動する子どもたちを、この大館からできるだけたくさん輩出することであり、それがこの大館の生き残る道なのかもしれない、私はそのように確信しています。福原市長の母校であります慶應義塾大学の創設者である福澤翁の言葉に、「一身独立して一国独立す」があります。まさしく大館は、率先して全国に範を垂らしめようとしているのではないかと思います。その結果が2年連続しての博報賞の受賞に繋がったと思います。

非常に財政が厳しく、6%減のシーリングとされる中、是非再び小林虎三郎米百俵の精神に戻りながら、最後にまちを残すには人財であり、そしてそれに見合った予算を全国各地がしっかり用意していかなければいけないと、私は確信しています。

是非大館から灯された小さな灯火が、全国に広がるためにも、福原市長の絶大なるご協力をお願いしながら、私の挨拶とさせていただきます。

○加賀教育総務課長

ありがとうございました。

これより、協議事項に入らせていただきます。会議の進行は、総合教育会議運営要綱により市長が議長と定められていることから、福原市長が務めることとなります。

市長、よろしく願いいたします。

○福原市長

それでは、教育委員会の皆さま、議長を務めさせていただきます。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

次第により、順次、進めさせていただきます。

最初に、協議事項（１）「平成２８年度当初予算について」です。事務局より説明をお願いします。

○加賀教育総務課長

資料の２ページをご覧ください。このページ以降が、事務局から説明する予算の概要となります。次のページに策定いただいた教育大綱があり、これに基づいて予算要求させていただいています。また、４ページには総合教育会議運営要綱があり、今回は第５条第２号について協議をお願いしたところです。

それでは、２８年度に取り組む主な事業について、５ページをご覧ください。始めに教育総務課です。表の中で網掛けしている部分が新たに取り組む事業案です。その他に継続的に進めている事業や今後展開が見込まれる事業などを記載しております。以降、全ての課がこの様式により作成しています。

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、加賀教育総務課長が説明）

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、三澤スポーツ振興室長が説明）

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、羽生学校教育課長補佐が説明）

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、菅原生涯学習課長が説明）

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、佐藤中央公民館長が説明）

（２８年度に取り組む主な事業（案）について、若宮郷土博物館長が説明）

○福原市長

事務局の各課の皆さん、説明どうもありがとうございました。

それではただ今の協議事項（１）について、ご意見を伺いたいと思います。

５月２８日の総合教育会議の席上でも申し上げましたが、この総合教育会議は、あくまでも自由で、建設的な意見交換の場でありますので、決を採らないというのを申し上げたいと思います。

それでは、ご意見を伺いたいと思います。

○山田教育委員長

特別支援教育支援員派遣事業についてです。学校訪問するたびに、この支援員の方々には、教育全体を支えていただいているとの思いでいっぱいです。中には色々な問題を抱えているお子さんや色々な家庭事情を抱えたお子さんがおられます。そんな中を、先生が授業を一つの方向に持っていけるのも、このような支援員の方々がいて、始めて授業が成り立つという場面を拝見して参りました。是非ともこの予算に関しては、今後とも末永く支援賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

○福原市長

ありがとうございました。このことについて、学校教育課から何かございませんか。

○羽生学校教育課長補佐

平成１９年頃から始まった事業と記憶しています。３名からのスタートでした。現在は、４７名を２５校に配置させていただいています。授業を進めていく中で、色々な子どもさんがおられますが、色々な人が入って、色々な目で見て、色々な目で支えていくという意味では、非常に効果のある事業と思いますので、学校教育課としても続けて参りたいと考えています。

○福原市長

市長会からも秋田県に対して、同様のお願いをしています。

○山田教育委員長

よろしく申し上げます。

○根田教育委員

スポーツマスターズ秋田県大会についてです。韓国の選手も来られるという

ことですが、国際親善に力を入れたいというお話もありました。大館市の子どもたちのためにも、是非国際親善に繋がるような、教育の一環になって欲しいと強く思いました。そのような点からも、力を入れていただきたいと思いをします。

○福原市長

ありがとうございます。スポーツ振興室からお願いします。

○三澤スポーツ振興室長

県からの指示で通訳を準備するよう言われていますが、実は確保するのが大変だと感じています。ただし、友好親善という意味合いから、学校も含めて、観光課や関係部署とも詰めながら、どのようなおもてなしの形がいいのか、その辺も検討しているところです。できるだけ広く歓迎できる形にしたいと思っています。

○根田教育委員

大館市のイメージにも繋がります。国際親善ということで、非常にいい機会だと思います。

○清野教育委員

山田委員長からも特別支援教育支援員派遣事業について発言がありました。特別支援教育の理念から申し上げますと、学級には、障害を持っている子どもたちだけではなく、特徴を持ったたくさんの子どもたちがいます。そのような児童・生徒への目配りとなると、支援員の方々がいてくださることにより、一人ひとりにきめ細かな対応ができると思っています。そのようなことから、特別な予算ではなく必要な経費であると、大きな見地で捉えて予算を確保していただきたいと思いをします。もう一点です。大館市で推進し、評価されているふるさとキャリア教育推進事業についてです。各学校では、地域の学校として、地域の方と結びついて、地域の方に元気をいただきながら、地域と一体となった教育活動が展開されています。このことは、学校訪問をして目の当たりにしています。27年度から、各学校に授業のための予算をとることから、配分されるようになりました。特徴ある地域を大事にした活動となると、予算も必要になります。恐らく学校現場では、この予算が配分されると、上手に使おうと工夫がなされるはずですが、どうか、予算シーリングもあるようですが、子どもたちは、百花繚乱のように輝いて見せてくれていますので、是非確保をお願いしたいと思っています。

○福原市長

ありがとうございます。ふるさとキャリア教育については、市議会の行政調査も人気があります。教育研究所からお願いします。

○山本教育研究所長

北海道から沖縄まで、大変関心をいただいております。もちろん、秋田県の学力ということで、学力向上という視察目的でいらっしゃっています。それにプラスしてふるさとキャリア教育ということで、特色ある教育実践をしていますので、大館市へ訪れていただく議員の方、PTA関係の方、もちろん教育関係者など、大変多くの方においでいただいております。

○福原市長

ふるさとキャリア教育については、是非、高橋教育長から一言いただきたいと思えます。

○高橋教育長

ふるさとキャリア教育に係る予算が措置されたのは、実は今年度からです。市の財政状況も十分理解していますので、予算がなくても子どもたちのために、または未来のために、必要であればやらなければならないというのが教育の姿勢であります。今までも、全く予算がないわけではなく、国や県の事業などを活用しながら進めて参りました。5年目になり、非常に私たちが期待している以上の成果と言いますか、子どもたちの成長の姿が見られてきました。是非、さらなる効果を高めるために、未来投資として特段の市長のご配慮・ご支援をいただければ、もっと成果を出せると思えますし、何よりもそれが未来の大館に還元できると思っていますので、よろしく願いいたします。

○福原市長

先ほど山田委員長が言われたとおり、大館が残すべきは「人財なり」を実践していかなければなりませんね。

○根田教育委員

ニッ山総合公園子どもエリア建設事業についてです。古くなった遊具を撤去したことにより、子どもたちが遊べなくなっている状態だと感じています。教育長も話されましたが、未来の人財のためにも、伸び伸びした子どもたちを育むためにも是非必要な事業ではないかと伺いましたが、いかがでしょうか。

○三澤スポーツ振興室長

子どもの遊び場となりますと、各公園にそれなりの遊具があります。そこで親御さんが子どもを遊ばせていますが、広い場所に遊具なり、健康器具があつて、幼児から小学校低学年までの子どもが、そのスペースで遊べる場所がない状況です。芝生広場も含めて、親子が一定の時間をそこで遊べる状況をイメージしたものです。現在は、基本計画を業者に発注していますが、来週には、子育てサークルの方々と意見交換する予定となっていて、そこで出た要望などをできるだけ反映させながら、最終的な案を作成したいと考えております。

○根田教育委員

他の事業を見ても、どれも必要な事業で、これが特別とはならないかもしれませんが、子どものことに関しては、譲ることができないとの思いでいますので、よろしく願いいたします。

○高橋教育長

長根山陸上競技場2種公認についてです。前回の公認の際に、市教委としての見通しの甘さから、凍結という事態に至り、市民の方々や利用者の方々に大変ご迷惑をおかけした経緯がありました。次の公認に関しては、準備を怠りなく進めていかなければなりません。ハンマー投げサークルに関しても、今もありますが、かなり老朽化しています。また、競技施設は日本陸連の公認がなければ使えず、最近はますます厳しくなっている状態であります。そのような関係から予算要求する次第です。公認のために必要な準備について、ハンマー投げサークル以外については、スポーツ振興室長から回答させます。

○三澤スポーツ振興室長

公認のために必要な準備は、他にハードルもあります。3か年計画で準備することとしていて、来年度ですべて用意いたします。今週土曜日に中間検査があります。日本陸連から指導員が来られて、次回の検定に向け至らない点があれば指導いただくことになっています。指摘事項が出た場合は、検定に間に合うような措置を講じたいと考えています。

○高橋教育長

以上のような状態ですので、ご理解をお願いします。

○福原市長

ハンマー投げサークルは、高くするのですか。

○三澤スポーツ振興室長

そのとおりです。今は7メートルですが、規格上9メートルまで高くします。

○山田教育委員長

校長会、PTA、学校要望改修事業についてです。今までは、学校耐震化事業に予算を費やしていましたが、その事業がある程度落ち着いてきたということで、改修事業が見直されることは、大変喜ばしいことだと思います。一番現場を知っているのは、ご父兄であり、先生であり、地域の方々だと思っていますので、是非要望事項については、様々出てくるかも知れませんが、少しでも迅速な対応をお願いできればと思います。もう一点です。中学校用コンピュータ（タブレットPC）整備事業についてです。私自身も、この夏のある研修会で、教育関係用のタブレットを操作させていただきました。映像を撮って、その中ですぐ貼り付けることができるなど、非常に効果の高いものと認識しています。現在、更新を迎えたPCを更新するのは、その通りではありますが、同じ町の子どもたちの中で、デジタルデバイスに格差があっては、非常につらい気がします。グループで使わせるのも、もちろん大切ですが、できるだけこの辺についても早急な対応をお願いできればと思います。

○福原市長

この件に関して、教育総務課と学校教育課からコメントをいただきたいと思っています。

○加賀教育総務課長

積極的に予算を獲得し、取り組んでいきたいと思っています。

○羽生学校教育課長補佐

コンピュータについては、委員長のおっしゃるとおりです。来年度で各学校にタブレットPCが導入されることは、まずは第一段階と考えます。それを踏まえた上で、整備計画については、今は定期更新という形で行っておりますが、前倒しができれば、そのように検討して参りたいと思います。

○清野教育委員

北鹿ハリストス正教会聖像（イコン）修復事業についてです。これについては、以前にお話がありましたが、色々な事情で頓挫していました。その間にも、大館のお宝の一つで、貴重な財産ですが、修復が待たれているのに頓挫し、時間が経っております。劣化する一方でないかと、心配されるころでした。こ

の度、当事者の方からも修復の計画書が出されたとご説明されましたが、市内の団体の方からも寄附のお話があるように、地元からそのような気運が出てきていること、これを大事に、足がかりにして、是非朽ちることなく早急に修復しなければならないことだと思います。文化財と言いますと、「大館市の教育」に記載されているとおり、まだまだたくさんありますが、今回の件は、優先順位を付けるとすれば、上位に位置づけられると思っていました。

○福原市長

郷土博物館からお願いします。

○若宮郷土博物館長

先日寄附をいただいた女性の団体は、山下りんが女性であり、その方が残したものを修復するきっかけになればとの思いから、寄附をすることにしたそうです。その気持ちが向こうに届いた形で、向こうから聖像修復工事支援のお願い文書が提出されました。その文書の中に修復計画があり、28年度から3年間に渡っての具体的な修復内容が記載されてきました。これまでの「守る会」とか「函館ギャラリー」の方の活動などの結果も出てきましたので、向こうの体制も十分ではないものの、応えざるを得ない状態に迫られ、多少焦っての対応だったと思います。ただ、体制が十分でないので、向こう側の体制整備も含め、これから関わって参りたいと思います。どうしても管理責任は向こうの団体になりますので、市が主体と言うよりは、援助したり、道筋を付けたりという形の支援になると思います。

○福原市長

私からですが、先般、ふるさとあきたラン横手大会に教育長と行って参りました。態勢が素晴らしいと感じました。横手市の場合、市の職員も巻き込んでのオール横手でおもてなしができていました。確かに予算の話もありますが、それ以上にソフト面で、オール大館で、県内25市町村の皆様方に来ていただくということも含めて、意義あるものにしていただきたいと思います。

○三澤スポーツ振興室長

振興室からは、2人の職員が行きました。横手市とは連絡を取り、関係資料等はいただいておりますが、直接行って話を伺いたいと思っています。横手市をまねるわけではありませんが、参考にしながらも大館市バージョンで取り組んでいきたいと考えています。市長おっしゃるとおり、かなりの人数が必要に

なります。陸協の方々はもちろん、一般の市民も含めた協力態勢を考えていきたいと思ひます。

○福原市長

各委員からも要望やご意見を出していただきました。実に、建設的で、活発な協議がなされ、議論も尽くされたと思ひますので、この辺で、協議事項（１）については終了させていただきたいと思ひます。

事務局の各課に申し上げます。先日調整会議で示された「平成２８年度大館市予算編成方針」に沿って予算要求がなされると思ひますが、是非、本日の総合教育会議での協議内容を踏まえ、示された方向性に基づき、今一度要求内容を精査されまして、要求書を作成していただくよう、重ねてお願いいたします。

○福原市長

続きまして、その他になります。事務局から、何かありますか。

○加賀教育総務課長

特に、ありません。

○福原市長

それでは、他になれば、その他について終了させていただきます。

また、議長の職を解かせていただきます。円滑な審議にご協力くださいまして、本当にありがとうございました。

○加賀教育総務課長

皆様からの貴重なご意見、活発な協議、ありがとうございました。

今後、教育委員会としましては、「大館市予算編成方針」を踏まえつつも、本日の会議で協議された内容、示された方向性を尊重し、市長が言われたとおり十二分に精査し予算要求を行いたいと考えております。

それでは、以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。

本日は、ありがとうございました。